

<営業報告書>

2016年1月期は、売上げとしては14,789,223円と前期とほぼ変わりませんでした。山形県から古書籍のネット通販を個人経営していた松本修君が将来の取締役候補、経営者候補として入社し、ネット通販やオークションの強化に取り組みました。当年度にはまだ大きな目に見える効果は現れていませんが、2017年1月期には月60万円から70万円のネット通販売上げの増加を見込んでいます。2016年2月は目標に達しています。

またみんなの森協同組合から賃借していた大蔵館は売却されたため、倉庫内の本は大量に処分しました。撤退片付け費用としてみんなの森協同組合から865,000円を得ていますが、倉庫内の本や本棚の処分費用が大巾に上回る結果となりました。またネット通販の強化のため倉蔵館内のスペースの確保と21年間の保管による劣化で商品価値を失った書籍在庫の整理と処分に踏み切りました。創業以来ロフトサービス事業として東京都内の広告制作会社の資料在庫の保管業務を行っていましたが、当年度に契約が終了となりました。このため新たなロフト事業の受注のため、長浜地区の空家を片づけ費用代金の相殺と残金の長期分割払いで買取り、新たなロフト事業の委託先を探しています。このため今期には現金収入を伴わない売上げ約30万円と、現金の支出を伴わない資産の増加が約30万円計上されています。

当期株式の募集と移動状況について

2016年1月期は1株8万円で50株の自社株式売り出しにより、新しい株主を募集し2名の応募がありました。また、今期は前期から引き続いての譲渡希望も含め、49名の株主から354.68株、希望譲渡価格1株25000円から85000円で株式譲渡希望がありました。今期は譲渡の成立は82.72株8名義から2名義への譲渡が成立しました。

相続や贈与による移動は1件で2.4株 株主間の移動は1名義を2名義に4株でした。期末の株主総数は608名発行済み株式総数6642株、前年度からの株主総数の減少は6名でした。

入会地の状況

当社は都会のお客様や株主の皆様に ブナ・ナラ・クリ・トチ・ホオなど 落葉広葉樹の雑木林で、山菜採りやキノコ狩り、木の実拾いや散策をして楽しんでもらうという事業目的で営業を続けてきましたが、2016年1月期も原発事故の風評被害などの影響により入会地を利用するお客様は極端に減少したまま回復しませんでした。このため秋のイベントきのこ山は最低催行人数には達していませんでしたが、毎年の中止をさけるためにお客さまの申込参加者2名でしたが、代表1名スタッフ2名只見在住株主1名など6名で行いました。

長浜入会地の林道が2011年の水害で土砂が流出して沢のような状態になって雨が降るたびに下流で町道の流出が続いていましたが、只見町の公共工事で蛇籠砂防を設置していただき、今後は被害が出なくなる予定です。また長期的には流出した道路も少しずつ回復していくものと思われます。

期中に代表吉津が個人名義で所有していた農地と長浜入会地に接続する共有地約2万3000坪を交換で取得し、たもかく株式会社へ入会地として提供し入会地は更に使いやすくなっています。

たもかく本の街の状況について

2016年1月期のたもかく本の街の事業は、NHKの福島局と東北エリアへ原発事故の影響や地元での対応を紹介するニュース番組の中で紹介されました。

倉蔵館の周りに犬走りとコンクリート舗装の駐車場を設置する工事を美馬生コン様の協力で進めました。2017年1月期の完成を目指しています。

2015年10月から通販の強化のため、倉蔵館、うらない館は閉鎖して、みんなの森協同組合の家具倉庫の1階倉庫とともに通販事業のために使用しています。わずかですが、消雪設備と消雪用舗装の増設も行いました。